Japanese Communist Party

11月議会号

県議会NEWS

日本共産党　岡山県議会議員団
岡山市北区内山下2－4－6　岡山県議会内
TEL 086(226)7412　FAX 086(231)2187

2024年1月発行

森脇ひさき

すます伸子

氏平みほ子

11月議会 森脇県議の一般質問

岡山空港を軍事利用させてはならない

水道料値上げを止めるため、水道整備基本構想の見直しを

PFAS汚染への対応は

12月８日一般質問質問をおこなう森脇県議

11月定例議会が11月30日から12月22日までおこなわれました。12月８日（金）に森脇県議が一般質問に、12月22日（金）に須増県議が討論に立ちました。

Q1 岡山空港の軍事演習利用について、議会に諮らず決めたことは問題ではないか

森脇県議

11月に岡山空港で初めて自衛隊統合演習がおこなわれました。基地の使用ができなくなったという想定のもと、輸送機や戦闘機が離発着しました。

危機管理監

災害や訓練で自衛隊が岡山空港を使用した例があり、今回の使用形態もこうした先例と同等であるから、空港条例にのっとって適切に進めた

県民の苦情や不安の声をどのように受け止めているか。自衛隊に伝えたか

森脇県議

知事

県民からは賛否の声が寄せられた。こうした意見は国にも伝えた。統合演習への協力には様々な意見があると認識したところ

安保３文書のもと、空港管理者である知事の許可なしで使用できるようすることを視野に入れての動きだ

森脇県議

知事

許可手続きなしでも自衛隊が利用できるようにするとの議論はされていないという認識

Q2 自治体が必要ない苫田ダムの水を受水せざるをえない仕組みについてどう思うか

森脇県議

水道料の値上げが検討されている岡山市は、南部水道企業団からの受水と自己水源で必要な水を賄えるにも関らず、これとは別に苫田ダムからの受水に対し年間21億円も支払っています。

鏡野町、瀬戸内市、津山市でも同様に、自己水源で賄えることができるにも関らず受水し、備前市に至っては「必要ない」と受水はせずに、割り当てられた水量分の支払いのみおこなっています。

知事

各自治体の合意が得られた仕組み。厳しい経営状況だが、資金不足の発生はなく、費用と収益のバランスを考慮した運営がされている

過大な水道整備基本構想の需要予測を現実に合せて見直すべきでは。そして、苫田ダムの建設費や管理費の負担割合の変更を国へ求めるべきでは

森脇県議

知事

水源開発はすべて完了し、将来にわたり水道水を安定供給できる状況にあるため、見直しは考えていない。苫田ダムに確保している水道用水容量は必要なもので、変更を求めることも考えていない

Q3 PFASの除染について、河川やダムは県の責任で行うものでは。また、土壌についてはどのように検討しているか

森脇県議

吉備中央町の円城浄水場で、国の暫定目標値を大幅に上回る有機フッ素化合物（PFAS）が3年前から検出されていたことが発覚しました。また、円城浄水場の水源であった河平ダムからは国指針値の22倍にあたる1100ng/L、その上流の沢からは1240倍の62000ng/L、その上部の敷地に置かれていた使用済み活性炭からは溶出試験で9万倍の450万ng/Lが検出されました。

環境文化部長

原因究明を進める中で、水質や土壌の浄化等の方策について、技術的な支援をしていく

ダムは県の管理だ。県の責任ではないのか。支援をどこにするのか。

森脇県議

環境文化部長

ダムを含めた河川については、まず発生源対策が進めばある程度改善されるということを見据えて、対策を考えていく必要がある。

※使用済活性炭はすでに撤去されています。

国の指導の内容としては、飲用への注意喚起をおこなうというところに留まっている

高濃度のPFASが検出された使用済み活性炭は、野積み状態で放置されていました。

森脇県議

使用済活性炭の取り扱いについて、受入れ事業者と搬入元事業者に対する調査が必要ではないか

環境文化部長

搬入元事業者も含め、関係者から報告徴収等をおこなうとともに、活性炭の保管状況や再生利用の可否等について調査を進めていきたい

環境省が出している「行政処分の指針について」という通知において、廃棄物該当性の判断について適切な対処、総合的な判断を求めることと、基準が示されています。

「活性炭の再生ガイドライン」には異物混入や使用済活性炭を入れているフレコンバックの劣化について「廃棄物として分類される可能性がある」と指摘していることを紹介し、質問しました。

森脇県議

廃棄物か否か、県はどのような基準で対応しようと考えているのか

環境文化部長

廃棄物処理法や指摘の指針に基づき、立入検査などを通じて事実認定、廃棄物の妥当性について判断。物の性状や取引価格の有無など総合的に判断していく

精神障害者への医療費助成
11月議会で具体化されず・・・

9月議会で知事は「導入に向けて検討していく」と答弁し、前号で「実現の兆しが見えてきた」と紹介した心身障害者公費負担制度での精神障害者に対する医療費助成。

ところが、この11月議会での質問に対し、来年度からの実施を明確にした答弁はありませんでした。

県議会でようやく陳情が採択されたてから、すでに2年が経過しています。当事者の命と暮らしがかかった制度の実現をこれ以上先延ばしにするべきでないと、訴えました。

来年度予算からの措置を。
実施に踏み切れない原因は何なのか

※12月８日一般質問質問より

2024年度予算に対して要望書提出
命と暮らし守る施策を

来年度の予算編制に向けて、住民から直接寄せられたもの、または日本共産党の市町議会議員を通してあげられたものを取りまとめ、県に提出しました。

多発するコンビナート事故の防止策、JRローカル線の存続、訪問介護事業所への支援拡充など地域と暮らしを守るための施策とともに、正規教員の増員など多くの教育に対する施策の要望が出されました。

2023年12月22日、要望書を渡す県議団と東岡山市議

須増県議の討論

12月22日討論をおこなう須増県議

岡山県議会11月定例会は12月22日に閉会しました。須増県議は、議案1件、発議1件、陳情12件、請願14件について委員長の報告通り決することに反対し、討論をおこないました。

令和4年度決算について、広域水道企業団への「余り水」への支出、特定の企業に対して破格の補助をつける大型投資拠点化補助金などを理由に反対しました。

陳情のうち、国に対して米軍普天間飛行場の辺野古移設をめぐる代執行を強行しないことを求めることについて、地方自治を守る連帯を岡山から示すべきだとしました。

女性トイレへの男性侵入防止を求めることについて、この陳情は「LGBT理解増進法が施行されてから、女性トイレに心も身体も男性の方が侵入することが可能となった」とし、「なりすましトランスジェンダーが発生するようになった」としています（陳情趣旨より）。この法により「男性が女性トイレに侵入可能になった」という解釈に問題があるうえ、仮にそういうことが起きた場合、それはきちんと罰するべきことです。また、性暴力の防止、被害者支援の法整備と取りくみが不十分であることは間違いありません。しかし女性の人権と安全を守ることと、トランスジェンダーの方々の人権を守ることは対立するものではありません。トイレや公衆浴場は誰にとっても安全であるべきであり、また性の多様性を認め合う社会を目指すという立場から反対しました。

11月議会

議案に対する各会派の*態度*　※主なものを抜粋

議案・発議	共産	民県	公明	自民	結果
令和4年度岡山県歳入歳出決算の認定について	×	○	○	○	○
岡山県議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例案	×	○	○	○	○
	○=可決　×=否決				
請願・陳情	**共産**	民県	公明	自民	結果
私学助成を大幅に増額することを求めることについて	○	×	×	×	×
地方自治を守るため、国に対し、米軍普天間飛行場の辺野古移設をめぐる代執行を強行しないことを求めることについて	○	×	×	×	×
女性トイレへの男性侵入防止を求めることについて	×	△	△	△	△
公的年金の削減中止と物価高騰に見合った年金支給額の改善を求めることについて	○	×	×	×	×
国立病院の機能強化を求めることについて	○	○	×	×	×
「最低賃金全国一律制への法改正を求める意見書」の採択を求めることについて	○	×	×	×	×
「教員不足」にならないよう教職員を増やすとともに、正規教職員の比率を高めることを求めることについて	○	○	×	×	×
	○=採択　△=継続審査　×=不採択				